

令和7年度 自己評価と学校関係者評価

学校自己評価	学校関係者評価	
	意見	対応
(1)教育理念・目標 ・教育理念に基づき、AI技術の進展など急激な社会変容にも適応できるリテラシーを備えた専門人材の育成を目指している。 ・時代の変化に対応する将来の構想について適宜見直しが必要とされている	学校としての目標、学生自身が在学中に目指すべきゴールが明確になっており学生が自らの目標を考えやすい環境になっていると感じる。	職員一同が教育理念・目標を共有し具体的に教育現場に活かしていくようさらに努力していく。
(2)学校運営 ・年度目標に沿って運営方針を定め事業計画を策定している ・学生の進路先である企業・業界・大学、学生募集窓口の高等学校や海外学校・提携エージェントとの連携はできている ・外部環境や時代の変化に対応できる組織運営を構築し、職員の育成を図ることが求められている ・シリコンバレー研修、卒業進級制作発表会などのイベントを実施している	教育理念・目標を踏まえたカリキュラムコンセプトをしっかりと立てられています。昨年度はシリコンバレー研修が実施されたが、どうだったか。	昨年度シリコンバレー研修に参加した学生の成長は目を見張るものがあり、少数数であっても今後も続けていきたいと考えている。しかしコロナ前に比べると価格が高騰しており、参加者の増加はあまり見込めない
(3)教育活動 ・入学希望者のニーズや企業からの要望について、時代の変化を取り入れながら活動している ・就職先や進学先で求められる要件と課題を明確にしカリキュラムに反映している ・社会人として直ぐに対応できるよう、学生の生活態度や行動規範について学校生活や宿舍生活においても指導している ・進路先での技術・学力評価、人物評価を想定した目標を養うことを教員が心がけている ・留学生については日本社会に対応できるよう、日常生活に踏み込んだ指導を行っている	各企業が新入社員に何を期待しているか、その変化を学生が感じ取る必要がある。仕事ができる＝会社が欲しいではない。リアルで人と関わる力、挨拶、返事ができる等の基本的なヒューマンズスキルが大切になってくるのでそこを学校生活で身に付けてほしい。	人前で話す力を身に着けるため、プレゼン練習に時間を割くようにしている。また、報連相の徹底により、締め切り管理、連絡体制の重要性を教育するようにしている。
(4)学習成果 ・資格対策やものづくりの向上については一定の成果をあげているが、より実践的な技術を磨くことを課題としている また、キャリア教育の面で課題を整理している ・日本語能力試験対策においても一定の成果をあげている ・新たに春と秋にAI活用を学ぶための集中講座期間を設けた ・留学生の就職について在留資格更新の基準が厳しくなったので、デザイン・コンピュータ学科では日本語の授業を増やした。	業界におけるAIの普及スピードは目覚ましく、学生が将来活躍するためにはAIを使いこなすスキルが不可欠と感じる一方で、その土台となる基礎的な技術や知識が疎かになっては本末転倒である。学校には、時代の最先端を追うだけでなく、根底にある職人的・専門的な基本もしっかりと叩き込んでほしい。	従来の技術習得とAI活用の両方を教育する必要がある
(5)学生支援 ・学生との個別面談などを通じて個々の学習面、生活面での観察サポートは一定の成果をあげている ・保護者や出身校との情報共有を含め学生のメンタルトラブルの予防や対応を図っている ・留学生アルバイトについて、アルバイト先開拓やクレーム窓口を含め担当職員をおき管理している ・就職センター職員を増員し面接練習等の対応で手厚いサポートが可能となった。	ゲーム専攻から大手ゲーム会社への就職があったことは評価できる。1年次からの早めの面談も効果が出ていると感じる。	継続して行います。より効率的で効果の出る人員の配置を行っていきたいと考えます。
(6)教育環境 ・施設・設備についての課題を抽出し、解決にむけ改善着手している ・計画に基づいて防災対策を整備している ・専攻の講師を増員する	学生の理解度は人それぞれなのでできる限りのサポートを行ってほしい。	引き続き学生を第一に考え、状況に合わせた対応を行っていきたいと思います。
(7)学生の受け入れ募集 ・目標に向け計画的にルールに従って活動している ・学習成果が評価されるように情報発信している。また効果的な情報発信ができるよう工夫している ・留学生については、現地面接と家庭訪問により経済的基盤などを確認し、入国審査に対応できるようにしている	オープンキャンパスを年間30回以上も開催し、それ以外の会場ガイダンスでも、入学希望者に情報を伝える努力をしていると感じる。また、学校ホームページ等で学生作品等の情報が発信されていることで入学を検討する上での判断材料となっている。	ガイダンス、オープンキャンパス等の対応を引き続き継続していきます。
(8)財務 ・デザイン・コンピュータ学科は数年前と比べ入学者数はほぼ横ばい ・日本語科は新型コロナ禍の影響も少なくなり、入学学生数が改善	より頑張ってください。	大学との兼ね合いもありデザイン・コンピュータ学科は入学者数が数年前よりは減少しています。学生募集により力を入れていきます。
(9)法令等の遵守 ・平成25年度より自己評価を実施し公開している ・留学生の受け入れ、生活支援において在籍管理を徹底している また、犯罪や不法滞在を未然に防ぐべく、警察との情報交換を定期的に実施している	自転車に関する道路交通法が改正され、留学生だけではなく日本人も含む学生の違反や事故に気を付けてください。	自転車だけではなく、タバコやゴミのポイ捨ても地域の問題となっています。地元の阿倍野警察署とも連携し、また担任からも周知していき、事故トラブルが無いように取組んでいます。
(10)社会貢献・地域貢献 ・学生が地域の祭礼に参加しイベントのサポートを実施している、また近隣の清掃を定期的に実施している ・教育業界の各団体の役員・メンバーとなり活動している ・日本語教師養成講座を年2回開講し、社会人の転職活動を支援している	地域の祭礼や清掃活動などに参加する機会はあまり無く、周辺地域の方々に学生の姿を見ていただけるため、大切にしているのが学習面だけでないということを知っていただけの良い機会であり、継続していってほしい。	日本文化への体験という観点からも留学生にはなるべく参加してもらうようにしている。継続して、学外での活動を通じて人間教育をしています。